

ひらいてみちゃりい



福岡県学童保育連絡協議会
12月号担当 ペンギン

全国の学童保育連絡協議会
日本の学童ほいく
特集
みんなでつくる学童保育 **12**
—連携・協力・学びあい—
2024 December



「日本の学童ほいく」12月号
表紙のタイトルは
「ボクも手伝っているからね」

学童も年末に向けて大掃除
“ワックスかけ”をしました(^^)!

読んだあと、こどもたちと話したくなる



P38「ちょきんばこは なんで、ぶたの形が多いんですか？」

2年生が「どうして？」とおもったことを貯金箱博物館の館長さんが教えてくれます。所説あり
1つは、「ぶた」は、一度にたくさんの子どもを産むことから、「数が増える・繁栄する」幸福の
シンボルとしてつくられたという説です。

あと2つは、ぜひ 読んでみてください。

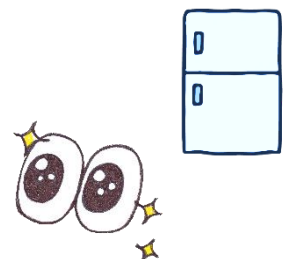
読んだあと、こどもたちと作ってみたいくなる

P53『冷蔵庫の大掃除』1年の締めくくりの日である大晦日よりも前に 大掃除をして身のまわりを
きれいにしておくことが理想とされています。冷蔵庫の中もきれいにして新年を迎えたいものでは
ありますが、使いかけの食材がたくさんあることも・・・。そんなときにおすすめなのが“ドライカレー”
だそうです。たくさんの食材を消費することができ、カレーを楽しんだ後はドライアやコロッケなど
アレンジができることも魅力的です。

P59『魔法のシロップ』でつくる魔法のミルクを紹介してくださっています。

おやつにつくったら、子どもたちの目がキラキラ輝くこと間違いなし！

私も学童で“魔法使い”になりたいです(笑)



情報共有は、子どもの願いや
悩みに寄りそった支援を行ううえで
欠かせない

うまくいっていることを
職員同士で探しあうこと

互いの話を聴きあうこと

保護者の知らない子どもの姿やがんばりを
知っているの、いつでも「子どもたちの味方」

『記録する・話す』ことはセットで
記録だけで終わらせずに
指導員間で直接伝えあうこと

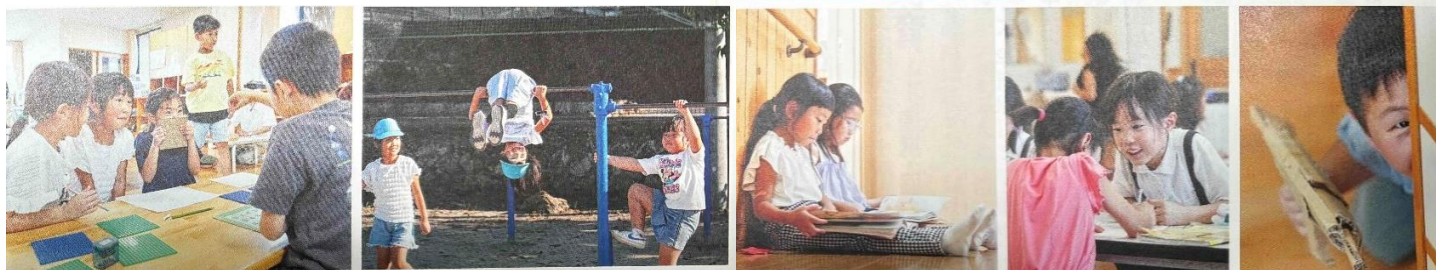
『すべて私が状況を把握して関わらなければ』
とっていて『すべて』をやりきれない
自分がいやになることも

『記録を読み、ふり返りつつ書くことが大事、
記憶より記録!』

特集

みんなでつくる学童保育 —連携・協力・学びあい

「グラフィア」学童保育の紹介



福岡県うきは市福富学童保育所

「日本の学童ほいく」誌は、日本中の選抜された保護者、指導員、学童保育所研究者の方々との編集会議をもとに、学童保育に特化して構成して作られた唯一の月刊誌です。福岡県連協は、この月刊誌を是非たくさんの保護者、支援員、学童保育関係者の方々に読んでいただきたいと思い、見どころ【ひらいてみちゃりい】を配信することにしました。毎月担当を変えて、それぞれの視点から見どころを紹介していきますので、是非購読申し込みをお待ちしております。

申し込み先：福岡県学童保育連絡協議会

TEL:093-662-6000 FAX:093-662-6006

